

## 「SGH研究指定2年目」スタート！

スーパーグローバルハイスクール（SGH）研究指定2年目となり、71回生は東志行期間中に「ブレインストーミング」と「KJ法」を活用し、グループプレゼンテーションを実施しました。今年度はクラスの融和をはかることも考え、内進・高進を交えた暫定班で、課題研究における3つの視点「国際平和の実現」「医療支援の推進」「水環境の改善」の中から、各グループが指定された1つの課題についてグループで意見を出し合い発表を行いました。今後、課題研究班・視点を決定し、調査活動に取り組んでいきます。



↑ KJ法を用いてアイデアを論理的に整序中



↑ 「国際平和の実現」をテーマにグループ発表

### ※ブレインストーミングとは？

グループのメンバーが、ある問題について自由にアイデアを出し合うこと

### ※KJ法とは？

多くの意見・アイデアをグループ化し、論理的に整序して問題解決の道筋を明らかにしていくための手法

## 「調査活動」スタート！

東高の1年生には「ナガサキタイム」と呼ばれる活動時間が毎週1時間設定されています。ナガサキタイムやLHRなどの特別活動の中でSGH探究活動（グローバルスタディ I（GS I））を継続していきます。初回のナガサキタイムでは、東志行で出た意見をもとに、1年間課題研究を行う班・視点を決定しました。4月中旬～5月にかけてパソコン室でグループ調査活動を実施していきます。「ナガサキから平和・医療・水に関するグローバルな課題を発見する」「ナガサキにある教育資源を活用して課題解決に迫る」をキーワードに



苦闘しています。このような活動の中で知見を広げたり、的確な情報を収集したり、仲間と協働して答えのない難題に立ち向かう創造性・協調性や学問に対する主体的な姿勢を培ってほしいと思います。

### 今後の主なSGH関連プログラム（GS I）

5/9(月) 長崎大学片峰学長によるSGH基調講演

6月下旬 平和・水・医療に関する高等専門機関等による

SGH講演会・意見交換会